

## 指導行政のポイント

### 学校評価と“数値目標”

菱村 幸彦

本年3月、文部科学省令で小学校設置基準、中学校設置基準等が制定された。公立の小・中学校は、今回定められた基準を十分クリアーしているため、新設置基準の制定により、とりたてて問題となることはない。

#### 自己評価と結果公表の努力規定

ただ、今回の設置基準において、各学校が教育活動その他の学校運営の状況について自ら点検・評価を行い、その結果を公表するよう努めるべき規定(第2条)が新たに加わっていることに注意したい。

この規定の意義や運用については、文部科学省編集『教育委員会月報』(平成14年5月号)に解説してあるので、詳しくはそちらを見ていただくとして、ここでは学校評価の一環として、昨年からの東京都教委が都立高校について試行を始めた「スクールプラン」について取り上げておこう。

「スクールプラン」とは、各学校が数値目標を含めた経営目標を設定し、その成果を評価して、学校改善を図るマネジメント・システムである。

どの学校も、校長が学校の特性に合わせた教育目標を定め、学校運営を行っている。しかし、一般に教育目標は理念的にすぎ、目標が達成できたかどうかわかりにくい。そこで、都教委は、各高校が数値を含めた具体目標を設定し、その目標に向かって1年間学校経営を行い、その結果を評価し、次年度の学校経営に反映させていく政策の導入を進めようとしている。

各高校は、年度当初に企画会議、職員会議等を経て、最終的に校長の判断で「スクールプラン実施計画書」を定め、教育委員会に提出する。

実施計画書では、めざす学校像、中期的課題、今年度の目標、今年度の数値目標、目標達成の具体的方策を定める。この場合、数値目標として

は、例えば、学校説明会の参加者数、入学試験の応募者数、国公立大学の合格率、技能検定の合格率、部活動の参加率など、当年度に達成をめざす具体的数値を掲げる。

#### 実施計画書で目標値を示す

実施計画に基づき各高校は、目標の実現に向けて、1年間の学校経営を行い、その結果を評価する。今年度の結果を来年度にどう生かし、どう改善していくかを検討し、翌年度の学校経営につなげていくわけだ。結果については年度末に教育委員会に報告するほか、インターネットなどを通じて保護者や都民にも公表する。

スクールプランについて、教職員組合などは「教育に数値目標はそぐわない」などと反対をしているようだが、都教委は、数値目標の設定により目標の達成状況がより明確になり、翌年度の具体的な改善計画につなげていくことができるメリットを強調している。

現在は、まだ都立高校6校において先導的試行を行っている段階であるが、都教委は平成15年度からこれを全高校に拡げるスケジュールを示している。将来的には、スクールプランを人事や予算にからめることも検討されている。数値目標に基づく学校経営の実施により、都民のニーズに即した教育の提供をめざす都立高校の改革が本格化することが期待される。

(ひしむら・ゆきひこ = 公立学校共済組合理事長)

#### 夏季教育管理職研修会のお知らせ

7月28(日) 29(月) 30(火)

場所 = 東京・お茶の水 / 総評会館・大会議室

定員 = 250人(先着順, 定員になり次第締切)

申込方法 = ハガキ, FAX, 電話, Eメール等で受付中

詳細については、小誌『教職研修』6月号、

小社ホームページ等をご覧ください。

好評発売中！ 新教育課程の全面実施で注目される学力向上への先進的取り組みを紹介！ 教育開発研究所・刊

## NO.1 『学力向上実践事例集』工藤文三(国研総括研究官)編

新シリーズ 新教育課程先進事例集(全6巻 予約受付中) 各巻A5判平均220頁・本体2,300円+税

研修誌・図書の小社への直接のお申し込みは、無料FAX 0120-462-488をご利用ください(24時間受付・即日発送)